



議員にもタブレットが貸与されました。ペーパーレス化、議員活動の効率化やオンライン活用などを目指してタブレットが議員にも貸与されました。新しいものの吸収が難しい私としては、研修を受けているものの慣れるまでの道のりが長そうです：使いこなす技量には個人差があり、自力で勉強できるかといえればそれも心許なくて。市の文書もデータ化されて入ってきます。本棚にびっしりの資料をひっくり返して、山積みした書類に付箋を貼り付けては整理して持ち運んでいました。果たして資料を減らすことができるのか。

## 議員にもタブレットが貸与されました

今、書類をリュックにしまって市役所通いをしています。子どものランドセルはタブレット支給でも軽くなっているといと聞いています。私のリュックは本当に軽くなるのか。その前に頭がパンクしないかも問題です。

## 野党共闘で小山のぶひろ氏(立憲民主党)当選

4党(日本共産党・立憲民主党・社民党・れいわ新選組)合意のもと、自公政権ノーの幅広い支持を得ての当選でした。与党政権への審判を掛川からも示すことができ本当によかったです。

日本共産党は残念ながら比例区(東海)で1議席にとどまり、リニアNO、原発NOの声をぶれずに主張できる静岡選出の共産党議員を国会に送ることはできませんでした。全国では10議席を獲得しました。

今後も国民の命と暮らしを守り、平和と民主主義を守るために精一杯がんばります。

ご意見などお寄せ下さい。

	全体	掛川市		
		今回	前回	増減
小山のぶひろ	112464	29774	20350	9424
宮沢ゆきひろ	100775	25595	25873	-278
投票率(%)	—	59.77	60.39	-0.62

※前回はもう一人立候補者有り

## 防災研修の会場の展示スペースを視察

女性議員で「防災に女性の参画を！」「女性目線での備蓄を！」ということ視察や研修に参加しています。先月末生涯学習センターであった研修会に企業が展示ブースを設けるとのことで見に行ってきました。

女性議員で「防災に女性の参画を！」「女性目線での備蓄を！」という事で視察や研修に参加しています。先月末生涯学習センターに企業が出展したブースを設けるとのことで見に行きました。



生理用品、オムツなどの展示

災害弱者への目線、危機管理の目線からも備蓄の見直しをおこなうことも必要だと考えます。

静岡は全国的に見ても自主防に女性役員が少なく、決断の場にはほとんど女性がいません。単に炊事などの役割分担上の都合ではなく、決断の場に女性がいることが大切だということ、研修の折、防災の専門家は語っていました。



毎年楽しませてもらっている菊花展が中止になり、今年は市役所で